

平成 30 年 9 月 27 日

第 248 回日本循環器学会関東甲信越地方会 Case Report Award 最優秀賞

佐藤 雅史 臨床助教 受賞

平成 30 年 6 月 9 日（土）、ステーションコンファレンス東京に於いて、第 248 回日本循環器学会関東甲信越地方会が開催され、当教室臨床助教の佐藤雅史医師が「Case Report Award 最優秀賞」を受賞しました。

この Award は、若手循環器専門医の育成を目的として循環器疾患に関する臨床医学の発展を願って設けられた Award のうち、循環器病分野における症例報告について評価されるもので、抄録による第一次書類選考、地方会当日口述発表による第二次審査での質疑応答において、正しい医学用語の使用、発表時間の厳守と態度、考察、質問に対する応答、循環器臨床に対する貢献度の点から採点されます。

佐藤医師の演題は、『冠静脈洞および右室心筋に疣贅を認めた感染性心内膜炎の一例』で、指導医の准教授の原田顕治医師は、「まさに堂々たる発表でした。しっかり勉強して準備した、努力の賜です。」と佐藤医師の当日の発表の様子と本受賞について述べています。

佐藤医師の受賞を励みに、今後とも教室員一同、臨床はもちろん学会発表等の学術活動をはじめとする若手の育成にも注力して参ります。

以下、佐藤医師の受賞コメントを掲載いたします。

『この度、第 248 回日本循環器学会関東甲信越地方会「Case Report Award 最優秀賞」を受賞することができ、大変嬉しく光栄に思います。冠静脈洞における感染性心内膜炎の極めて稀な症例について発表させていただきました。今回の発表に際してご指導してくださった先生方に心より御礼申し上げます。この 1 例を通じて多くのこと学ぶことができました。今後も患者さま一人一人を丁寧に診療し、臨床及び研究に貢献できるよう精進していく所存です。御指導のほど宜しくお願い致します。』



■学会会場にて

（左から佐藤医師、原田医師）



■賞状と記念トロフィーと共に

（左から原田医師、佐藤医師、苅尾七臣教授）